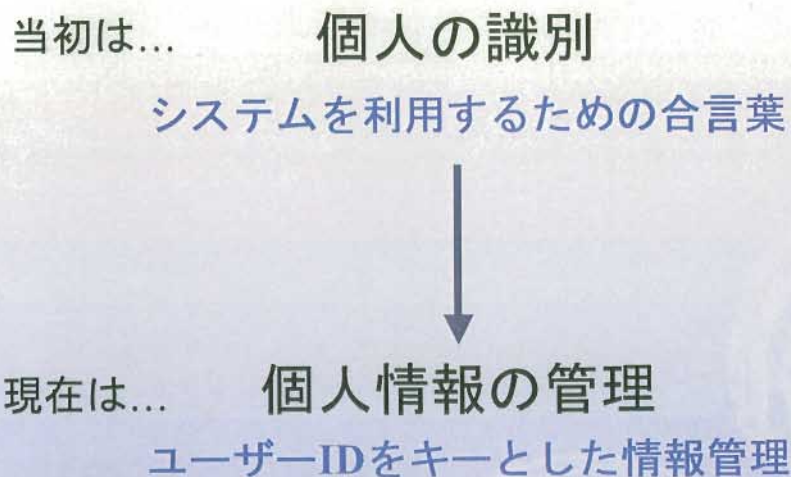


# Campusmate/CourseNavig と統合認証

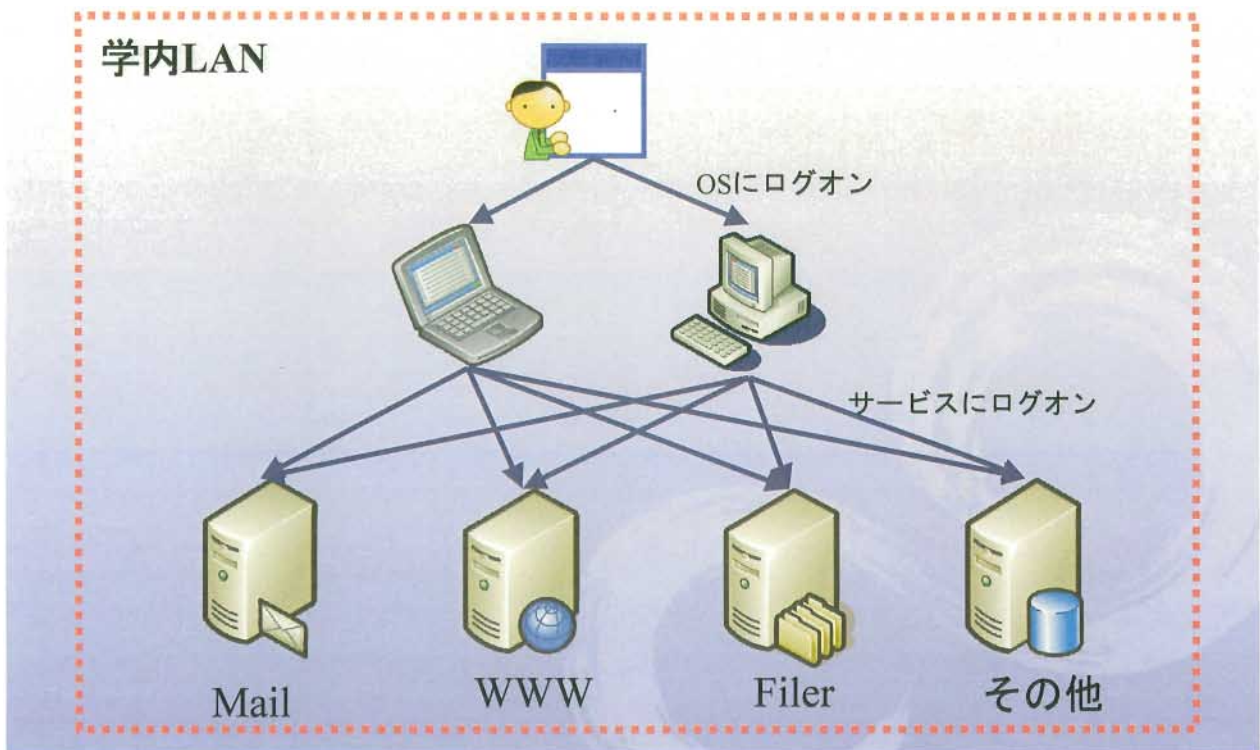
2004. 12. 10  
富士通株式会社  
文教ソリューション統括部  
安納 順一

## 認証って？



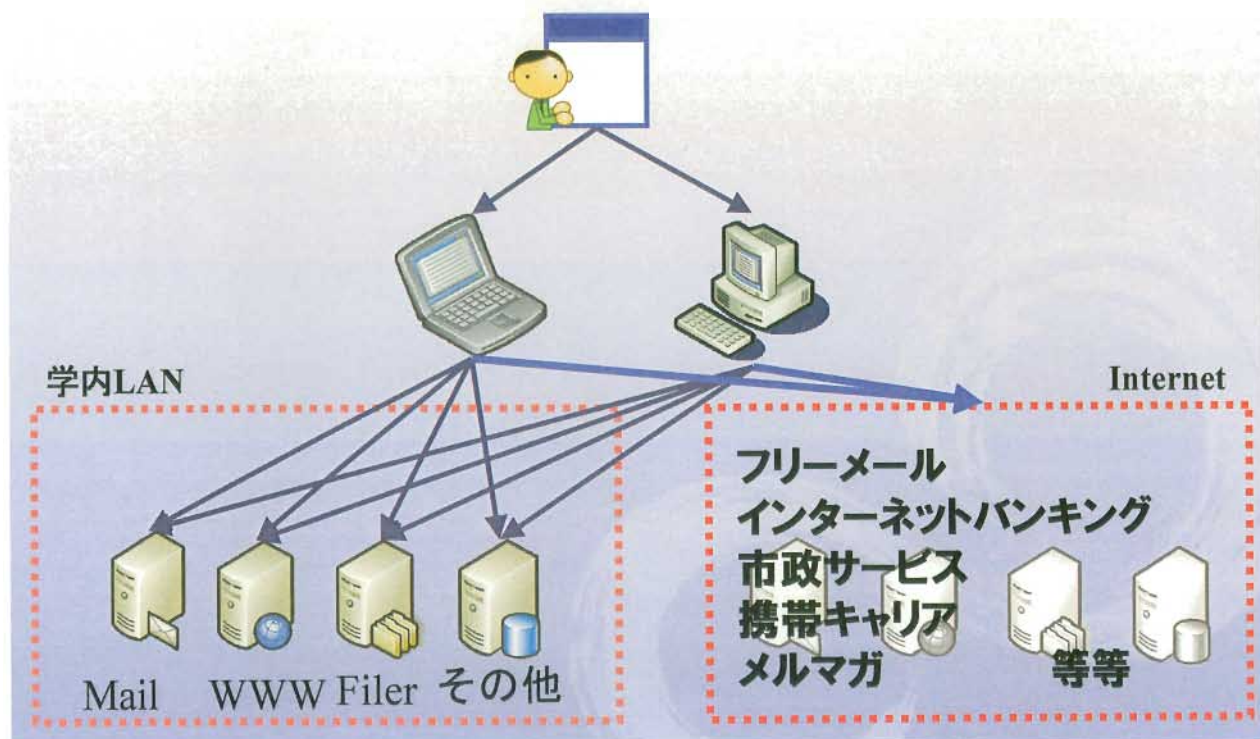
## 増殖しつづける「認証」

業務のIT化により「認証」を要求される機会が急激に増加



## 増殖しつづける「認証」

学内システムだけでなく社会システムも考えれば....

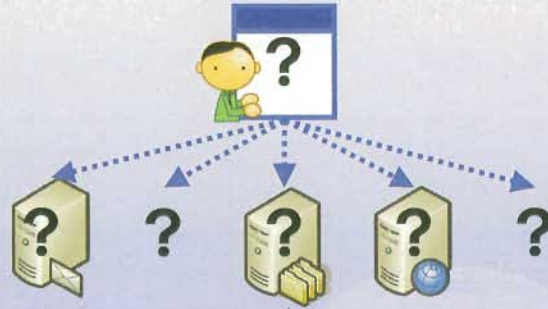


## 「認証」が増えた結果

パスワード忘却

だけならまだしも.....ユーザーID 忘却

だけならまだしも....IDの存在すら忘却



**IDとパスワードをメモに残す.....**

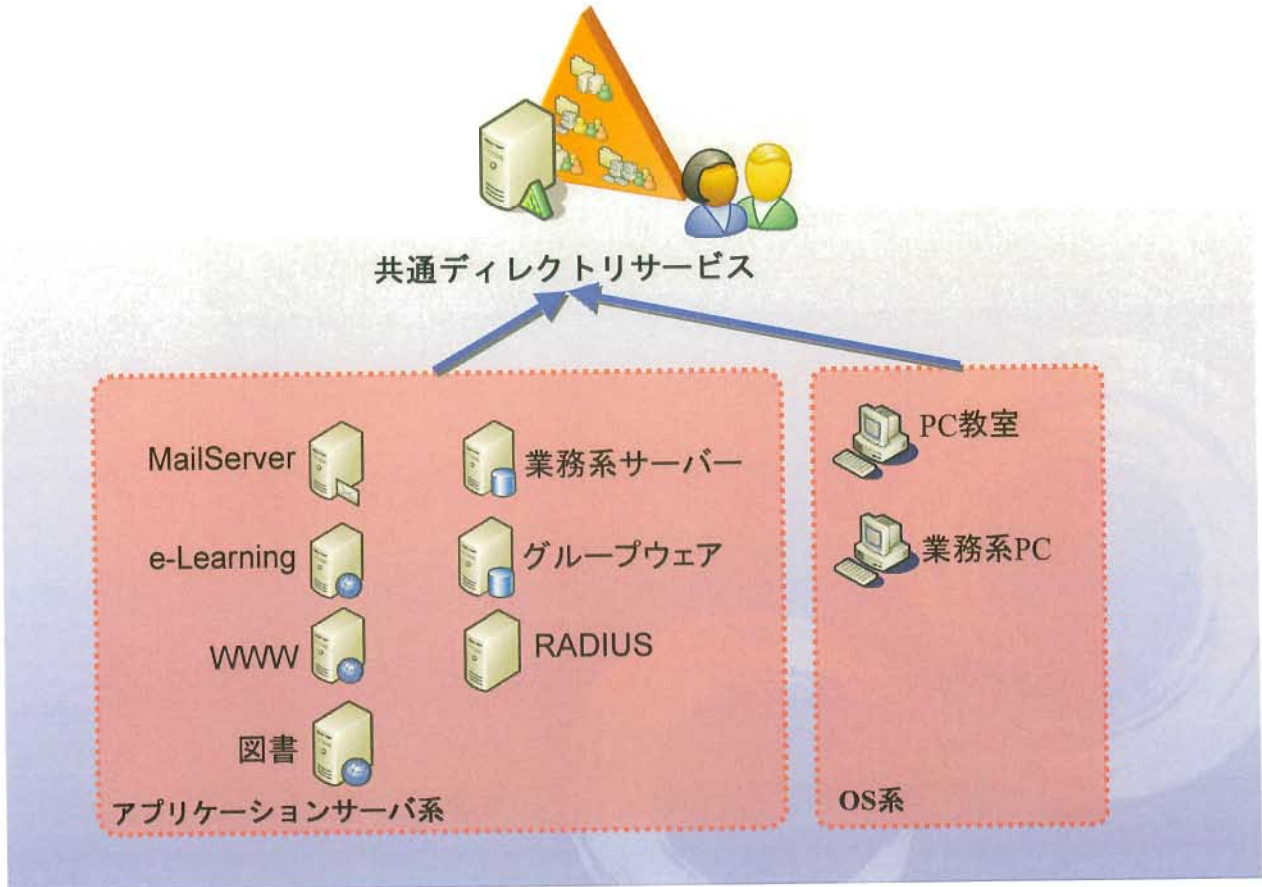
## そこで統合認証の登場

ユーザーIDとパスワードを統一する

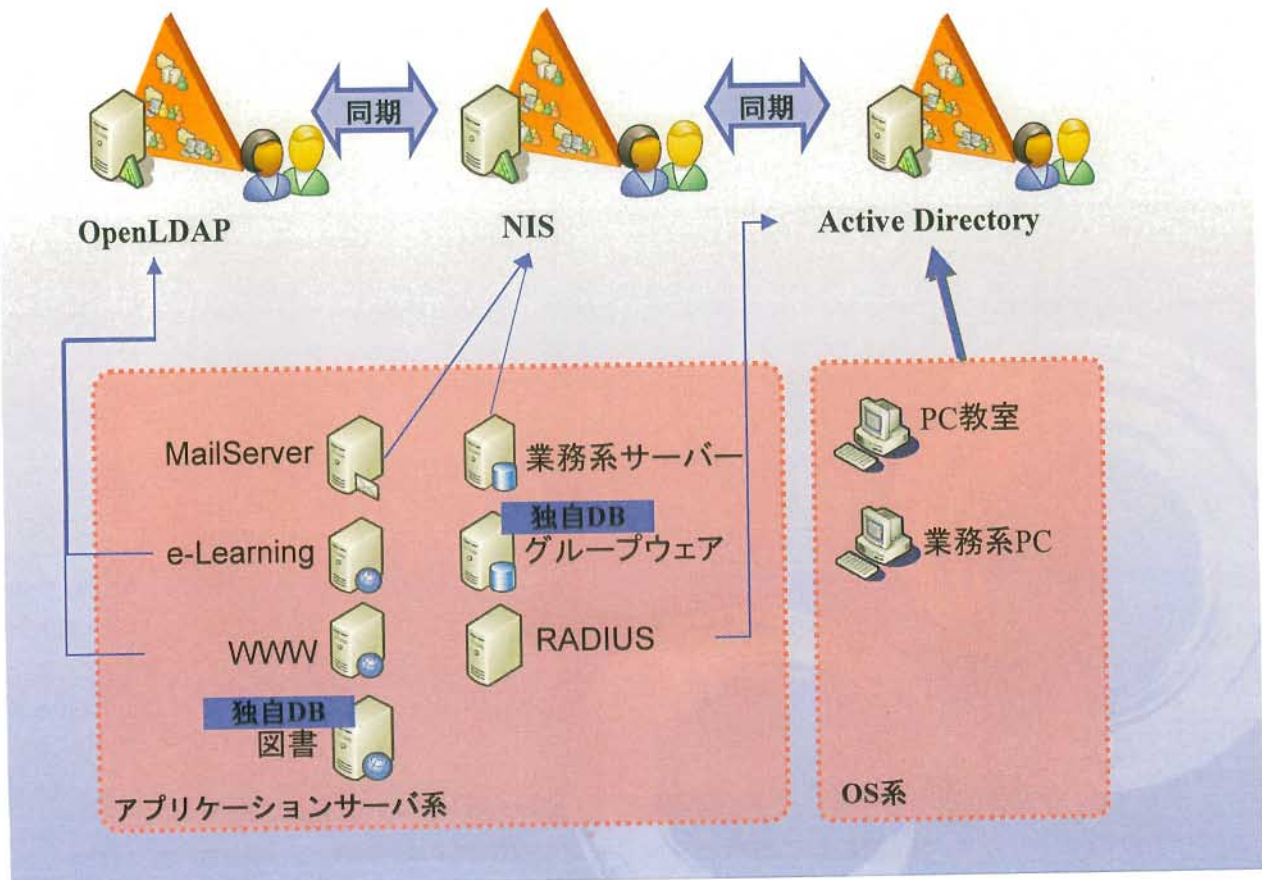
方式1：  
1つのディレクトリサービスを共有

方式2：  
同じIDとパスワードを同期

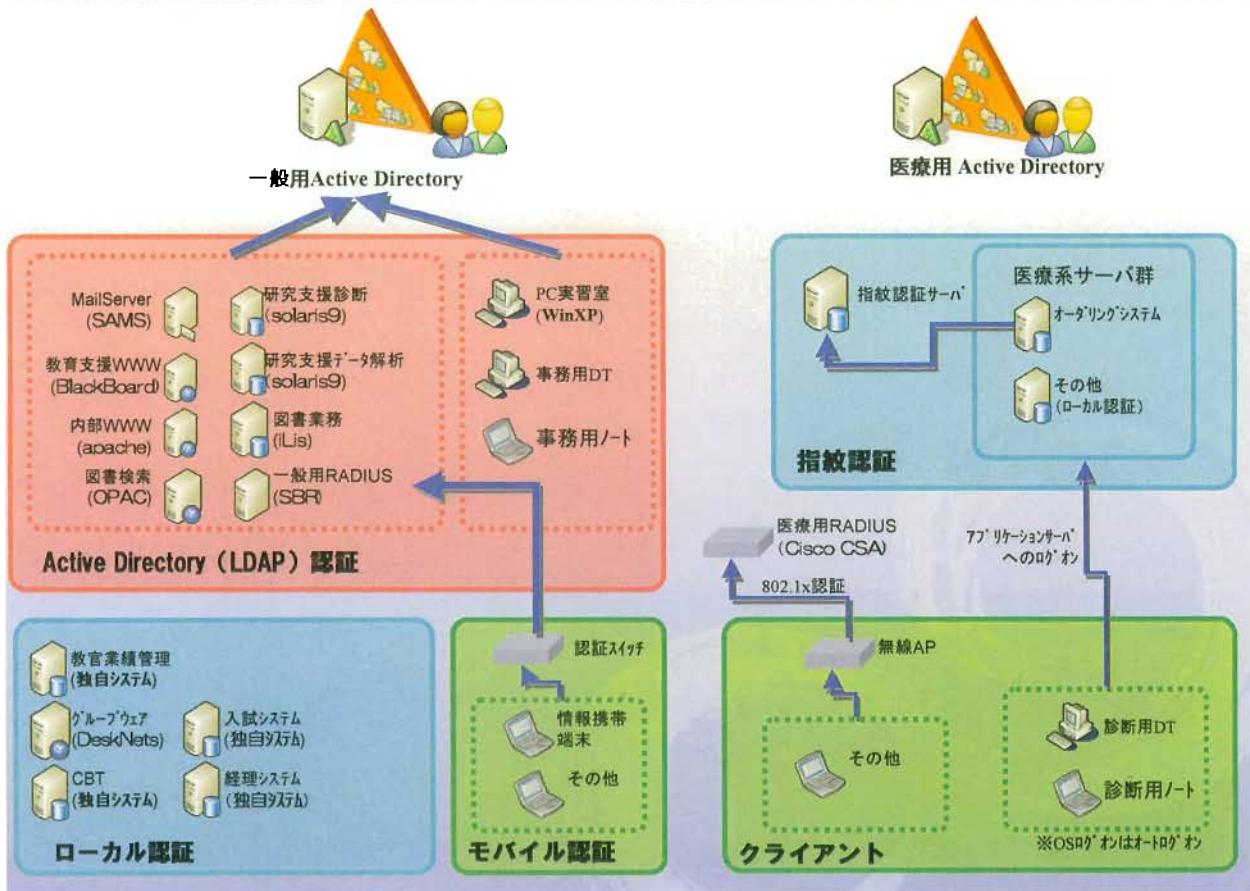
# 統合認証 方式1: 1つのディレクトリサービスを共有



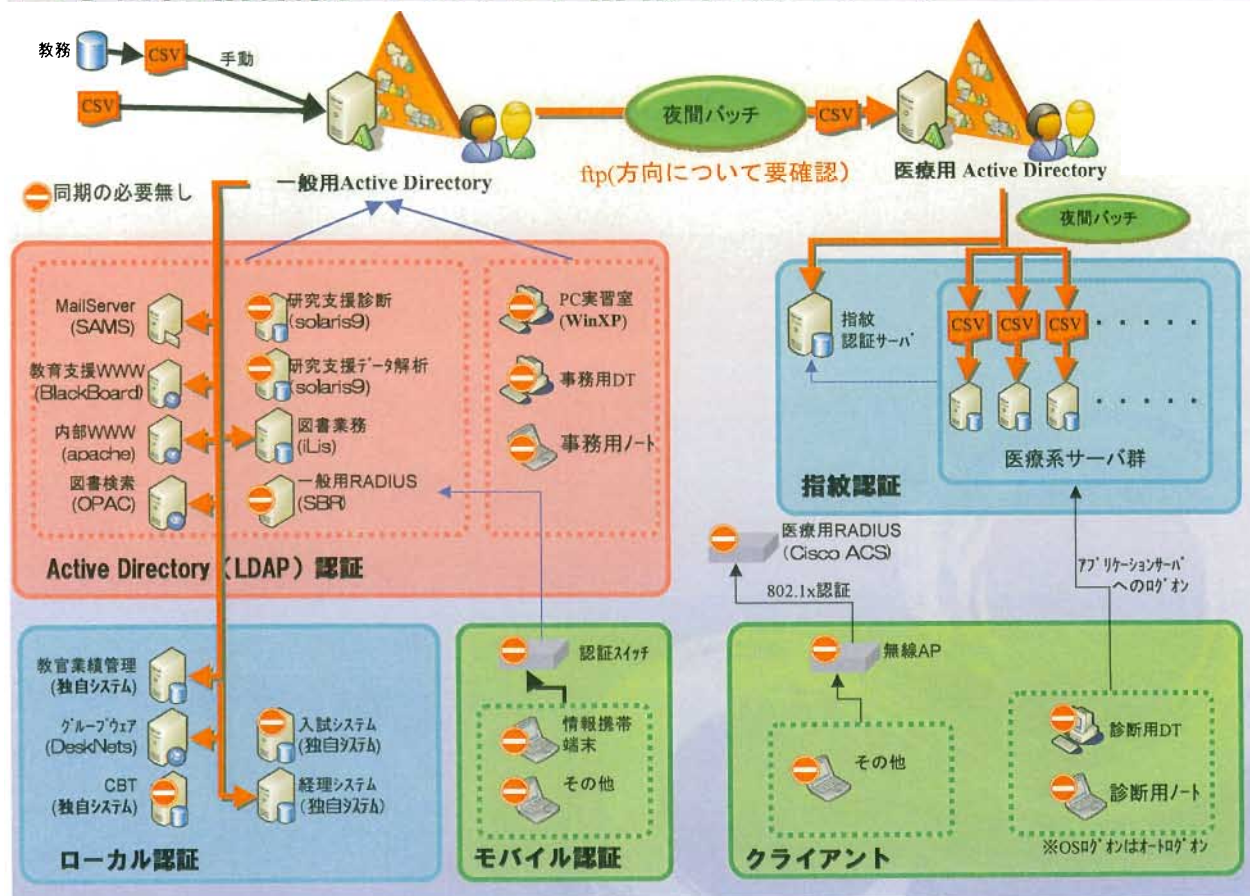
# 統合認証 方式2: IDとパスワードを同期



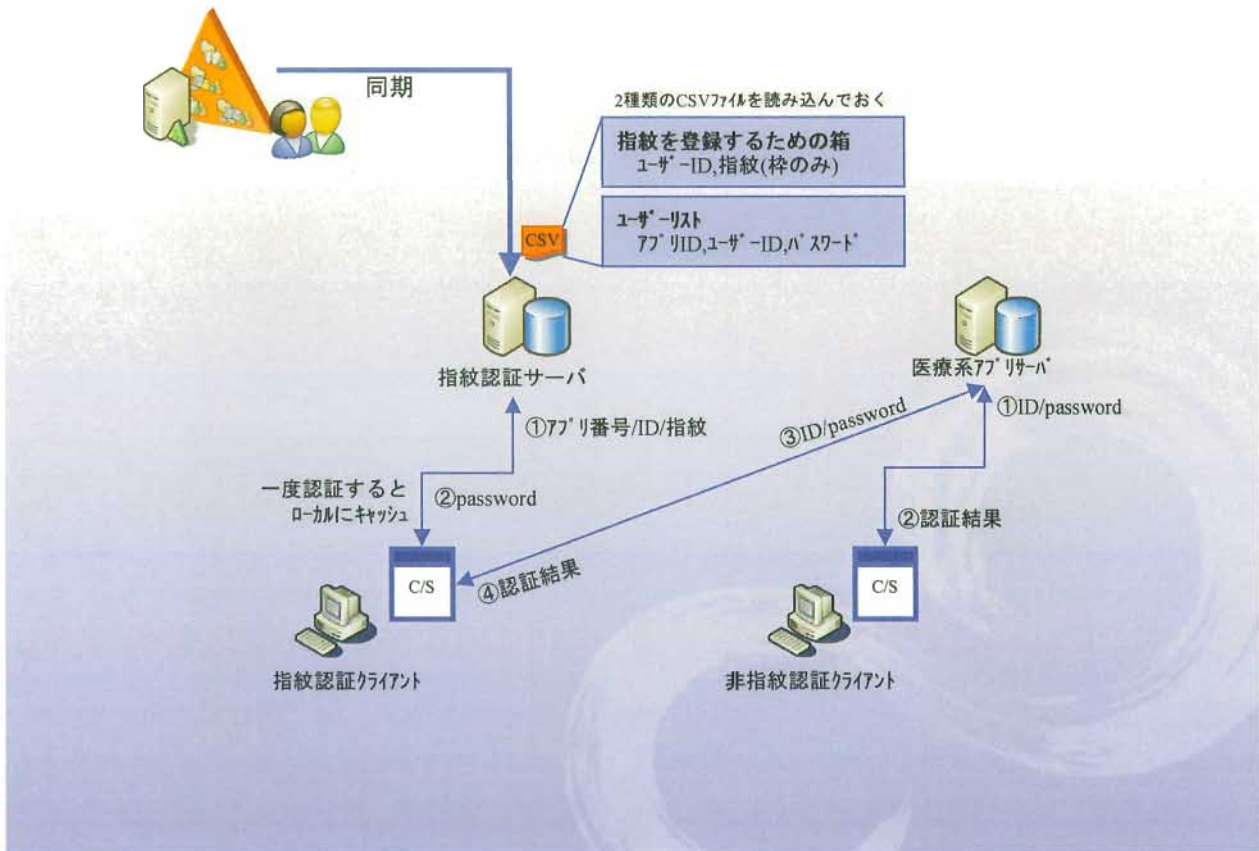
# 全学認証構築例：全学ユーザー認証イメージ



# 全学認証構築例：アカウント情報 同期イメージ

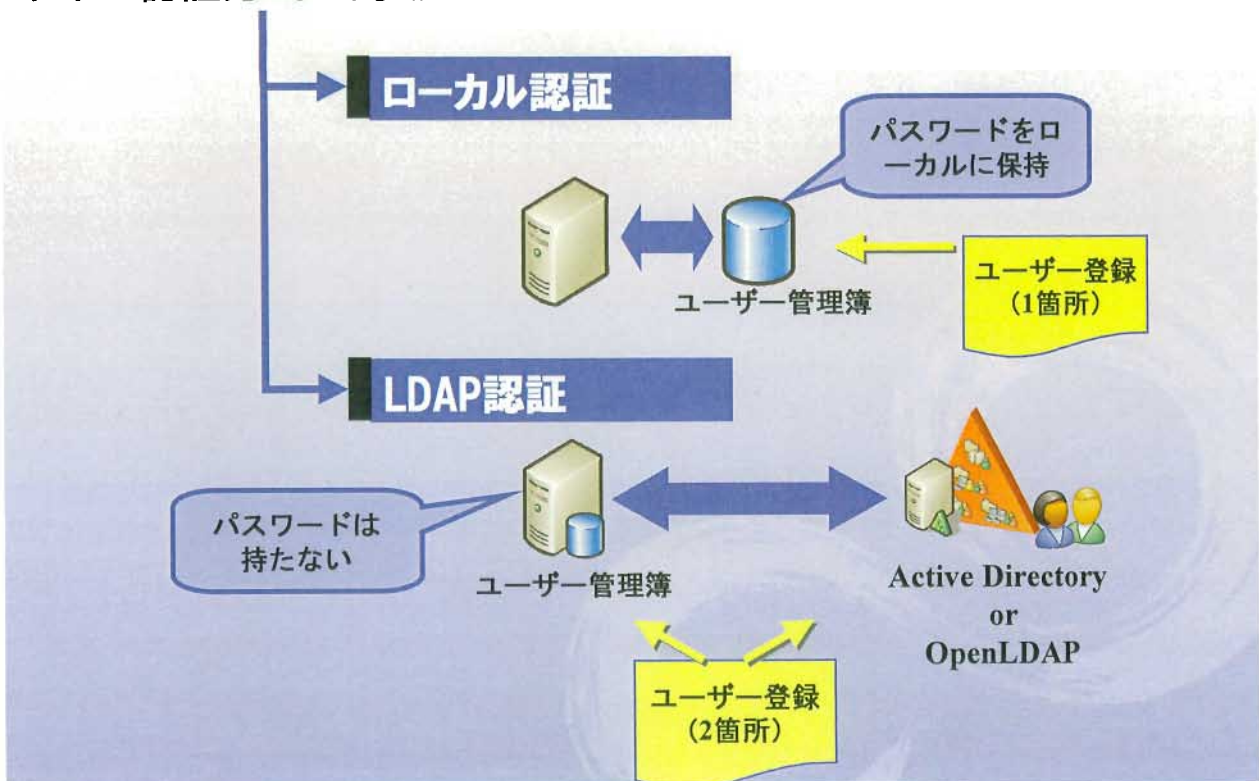


# 全学認証構築例:こんなものもあったり....指紋認証システム



## じゃあ、Campusmate/CourseNavigは？

以下の認証方式に対応



## 統合認証からSSOへ...

### 統合認証の課題

→ 同じID/パスワードを何度も入力

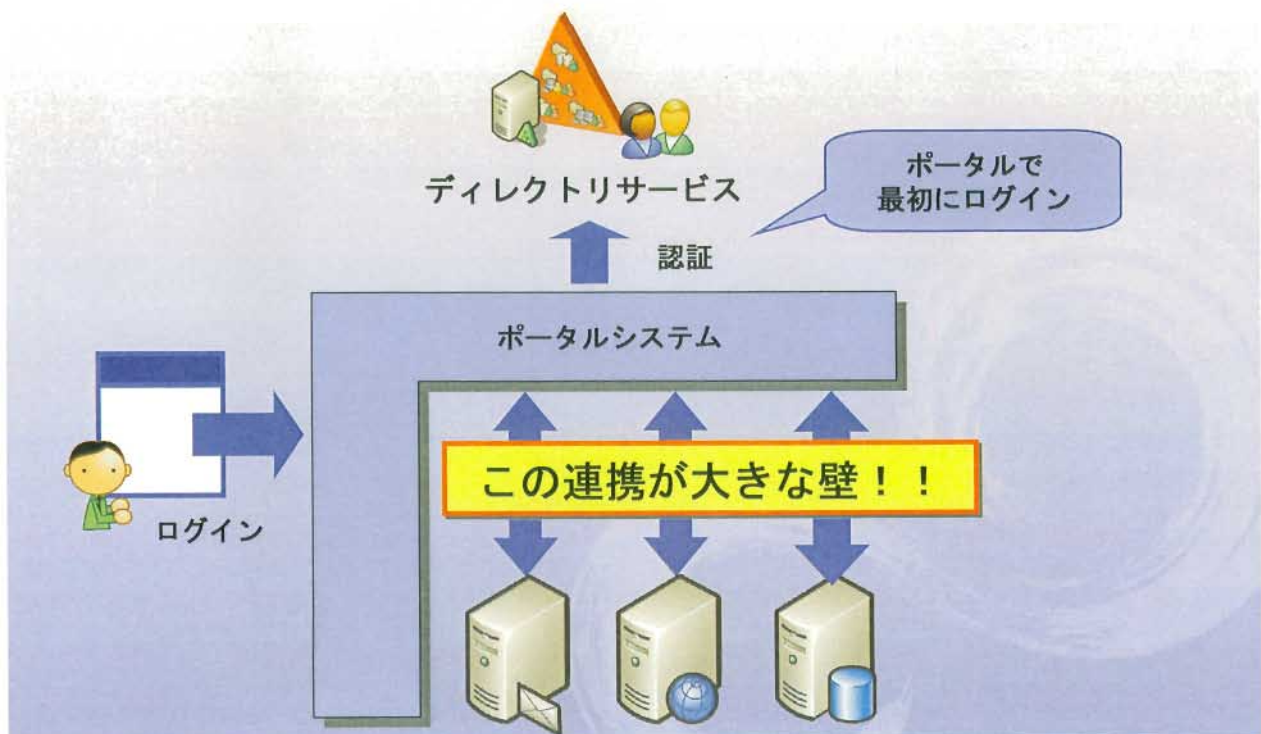
SSO (single sign on) 化により

- ログオン情報を、他のシステムでも再利用
- ログオンは1度だけ

認証の入り口として  
「ポータルシステム」を導入するのが一般的

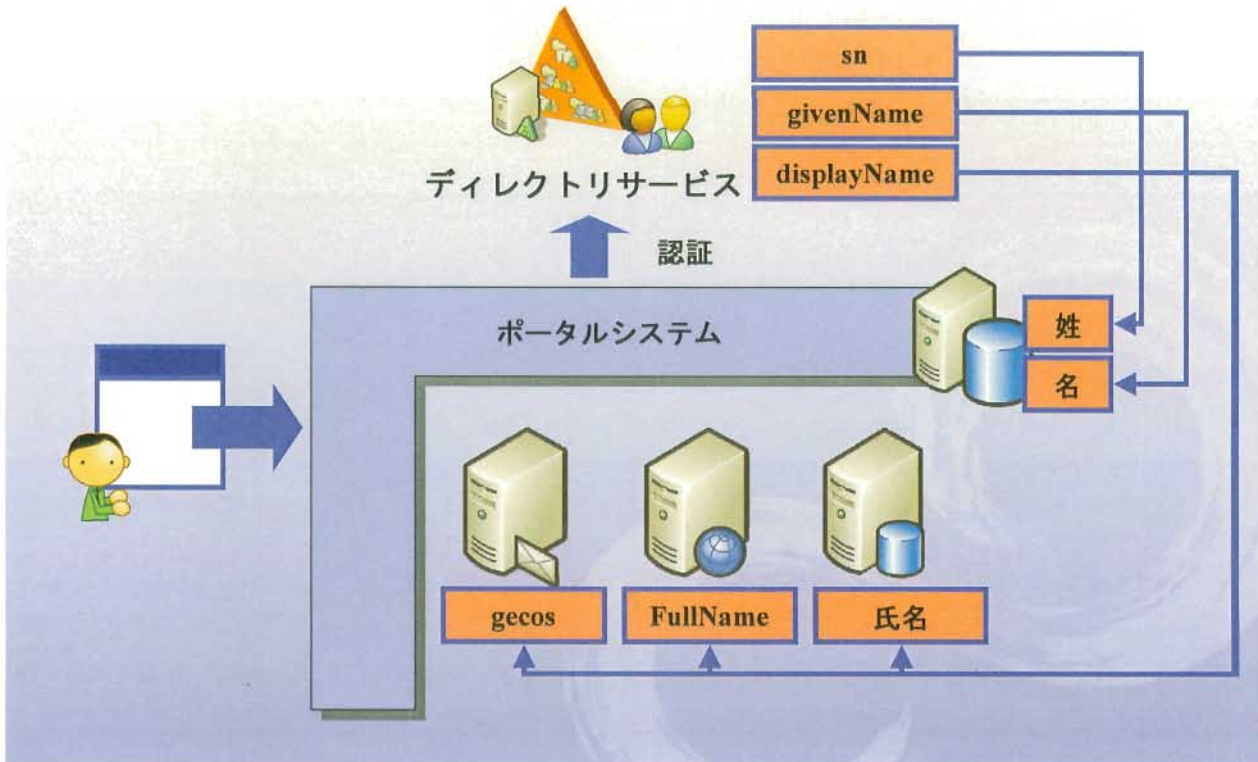
## SSO化の壁1

### ログインプロセスの連携の壁



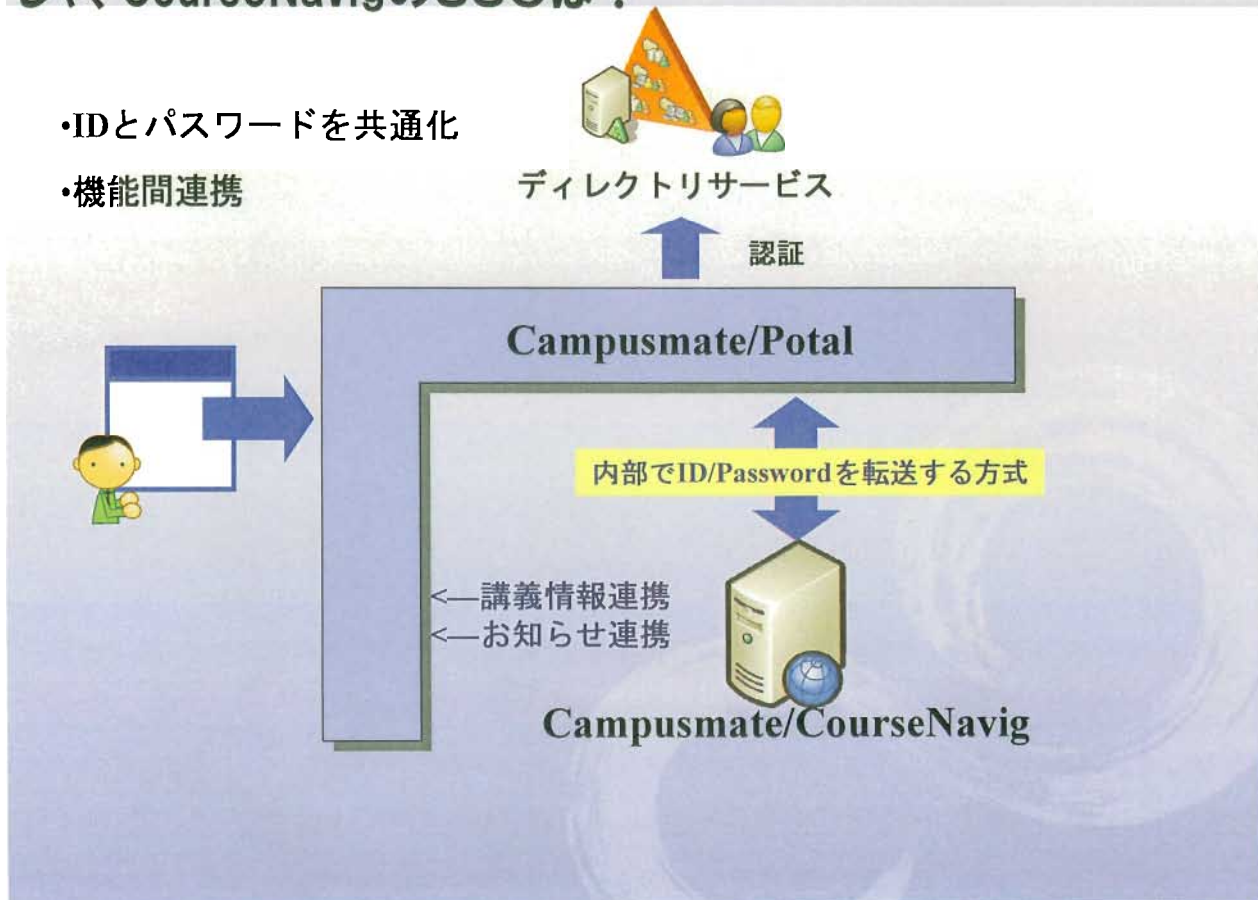
## SSO化の壁2

ID/パスワード以外の  
各サブシステム固有情報は共通化できない



## じゃ、CourseNavigのSSOは？

- IDとパスワードを共通化
- 機能間連携





# Campusmate/CourseNavigの今後

